

「冬道安全に」 こつ学び運転

自動車学校で講習

冬道運転のこつや危険性を学ぶ「冬道安全運転講習会」が22日、小樽市オタモイ3の小樽中央自動車学校(江弘雅校長)で開かれた。自動車学校の卒業生を中心に約80人が参加し、積雪で道幅が狭くなった道路や、ブラックアイスバンの坂道を上る練習をした。

冬道運転での事故を減らすと、同校が毎年実施。

参加者は小樽署交通1課の担当者による講話を聞いた後、教習所内のコースを実際に運転した。高さ約2分の雪壁の間やわだちを走り、冬道ではブレーキをかけてから停車するまでの制動距離が伸びることなどを



高さ約2分の雪壁の間を走行する練習などが行われた冬道安全運転講習会

確認した。

昨年5月に運転免許を取得したばかりの小樽商大4年、柴田一樹さん(22)は「雪がザクザクとした場所が埋まってしまった。冬道はアクセルもブレーキも『じわっと』しなければいけないと、よく勉強になった」と話していた。(市村信子)